

「平成 30 年 7 月豪雨」被災現場視察 (岡山県、広島県)

平成 30 年 7 月 15 日(日)

平成 30 年 7 月 16 日(月)

岡山市東区 砂川の破堤現場視察

東広島市の被災現場視察、

広島市南区の被災現場視察

岡山県倉敷市真備町の被災現場視察



岡山市東区 砂川の破堤現場視察

2018/07/15

カテゴリー: 中国地方 | 岡山県 | 都道府県

西日本の豪雨災害で大きな被害を受けた岡山市に伺いました。

岡山市役所で、岸田文雄自民党政調会長、望月義夫衆議院災害対策特別委員長、地元の山下貴司衆議院議員、石井正弘参議院議員、小野田紀美参議院議員と合流し、岡山市役所、岡山県庁、砂川の決壊被害現場、自民党県議との意見交換会の順に回らせていただきました。

まず、国土交通省で一緒に勤務した経験のある大森岡山市長と面会し、砂川など岡山市内の被災状況、今後の要望等を伺いました。…

続いて、佐藤岡山県副知事と面会し、小田川などの被災状況、今後の要望等について伺いました。

次に、岡山市東区の砂川の破堤現場を訪れ、被害の状況や復旧の状況について説明を受けました。

その後、岡山県議会の自民党県連の皆さんとの意見交換会に出席し、小田川改修や災害復旧の進め方等についてご要望をいただきました。

皆さんからは、温暖化の影響を考慮して、原形復旧ではなく、できるだけ改良復旧を進めるよう強い要請をいただきました。





東広島市の被災現場視察、広島市南区の被災現場視察

2018/07/16

カテゴリー: 中国地方 | 広島県 | 都道府県

岸田文雄自民党政調会長、望月義夫衆議院災害対策特別委員長、片山さつき参議院議員、地元の溝手顕正参議院議員、宮沢洋一参議院議員とともに、広島県庁、広島市役所、東広島市の被災現場、広島市南区の被災現場の順に回らせていただきました。

まず、湯崎広島県知事と面会し、JRや高速道路の早期復旧、災害査定の簡素化と円滑な査定前着工推進、必要な補正予算の編成等について要請をいただきました。私からは、随意契約を活用した早期着工をお願いしました。なお、県庁内に詰めている内閣府の青柳一郎審議官や国土交通省の吉田邦伸事業総括調整官にも会いました。泊まり込みで頑張っていました。

続いて、松井広島市長と面会し、民有地内堆積土砂の処理に当たって環境省所管の災害廃棄物処理事業と国土交通省所管の都市災害復旧事業の一体的運用、直轄砂防区域の拡張、原形復旧でなく改良復旧の推進などの要請をいただきました。

引き続き、東広島市に伺い、高垣市長や新谷正義衆議院議員の案内で、東広島市志和町の土砂災害の被災現場に伺い、一時孤立を余儀なくされた道路の確保を強く要請されました。

また、黒瀬町の洋国ハイツ付近の土石流の被災現場に伺い、巨大な土石で埋塞した川の復旧と、流路が変わって被災した下水管及び道路の早期復旧を要請されました。なお、洋国ハイツの皆さんの避難場所にも伺い、お見舞いをさせていただきました。

さらに、広島市南区丹那地区の土砂災害の被災現場に伺い、被災状況の説明を受けるとともに、岸田政調会長がぶら下がり取材を受けられました。





2018/07/16

カテゴリー: 中国地方 | 岡山県 | 都道府県

大きな被害を受けた真備町の小田川などの被災現場に伺いました。案内は、岡山県建設業協会の荒木会長にお願ひし、地元の国会議員で同期当選の小野田紀美参議院議員が同行されました。

真備町に入ると、ほとんどの家屋は二階まで浸水するなど大きな被害を受けていました。各家では、泥の除去や供給が回復した水道による洗浄、浸水で使えなくなった家財道具やゴミの持ち出しなどの作業が進められていました

なお、災害ゴミは道路沿いにうず高く積み重ねられており、かなり改善されてきたとは伺いましたが、まだまだ大変な状況が続いていました。現場では、粉塵を心配していましたが、主要な道路には散水がなされており、改善が進んでいるようでした。

さて、小田川の直轄区間の破堤現場では既に堤防の仮復旧が終わっていました。現在は矢板の打ち込みをシステムチックに進めていました。そのスピード感には感心しました。

小田川の支川の末政川の破堤現場にも伺いました。もともと、小田川本川と同じ高さの堤防(バック堤といいます)を有する天井川の小さな川ですが、家屋がたくさん連なっている地域で左右岸とも堤防が大きく破壊されており、津波のようなエネルギーを有する氾濫流で、堤防沿いの家屋が流失したり、全壊していたり、大きな損傷を受けているのが見て取れました。

これまで、真備町の被災状況をテレビなどで見させていただき、浸水被害が中心だろうと簡単に考えていましたが、誤解でした。

まさに、破堤による壊滅的被害が随所で発生していました。

そんな場所で地域の建設業の皆さんが工事用道路を確保し、大型土のうを運び込み堤防の復旧工事を進めていました。大変暑い中、頑張っておられる姿に頭が下がる思いでした。

被災地の復旧、そして復興には、建設業やコンサルタント、測量設計業など建設産業の力が不可欠です。本当に大変な状況ではありますが、地域の再生のため、皆さんの力が必要です。よろしくお願ひいたします。





